

## 「看護フェア」を 開催しました

5月16日(木)智頭病院看護士による「看護フェア」を、ほのほのそよかぜ通りで開催しました。

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心・ケアの心・助け合いの心を私たち一人ひとりが持つことが必要です。こうした心を老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう、近代看護を築いたフローレンスナイチンゲールの誕生日にちなみ5月12日を「看護の日」とし、この日を含む週の日曜日から土曜日までを看護週間として制定されています。

期間中には「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに、全国各地でイベントが開かれています。

今、看護職は病院のみでなく、幅広い分野で活動しています。目前に迫った超少子高齢社会に向け、人の誕生から人生を全うするまであらゆる

場において看護は機能しており、暮らしの場や医療機関で生活と保健・医療・福祉をつなぐ役割も担っています。「看護フェア」を通し「看護の日」を一般の人にも広く知っていただき、看護・介護職に関心を持っていただきたいと願い、当院でも毎年この時期に開催しています。



血圧測定で自身の健康を  
チェックしましょう

イベント当日は約100人が来場し、血圧測定やBMI(肥満度)測定等を行いました。また、職場体験中の智頭中学生2人もスタッフとして参加してくれました。

参加した人からは「優しく親切に説明してもらえて良かった。」「中学生が頑張っていた。」「骨密度や、血管年齢

も知りたい。」「毎年お願いしたい。」「等、たくさん感想やご意見をいただきました。また参加した職員は、「日頃は入院や受診という形で地域住民の皆さんと接しているが、こうしたイベントで関わりが持てたことは新鮮で、色々な話が出来て良かった。」と話していました。

来年も多くの皆さんに来ていただけるよう企画をしますので楽しみにお待ちください。今回看護フェアに参加された皆さん、アンケートへのご協力、ありがとうございます。アンケート結果につきましては、後日外来に掲示を予定しています。



身長は??  
え〜っとひやくろくじゅう〜

## 智頭小学校2年生が 施設見学をしました

6月26日(水)智頭小学校の2年生が病院内の見学を行いました。元気の良い挨拶があった後、「病院では夜間、どんな仕事をしているか」や「病気やケガを治す以外にどんな仕事があるか」といった質問をしていました。その後、手術室を見学し、テレビで見たことのあるものの、目の前にある皆さんの機械にとっても興奮した様子でした。参加した児童は「病気にならなくてもまた来たい」や「色々な機械を見ることができて楽しかった」と話していました。

